



キリン食生活文化研究所

2017年12月12日
レポート vol.70

～あなたのくらしのアンケート～
民泊

サマリー

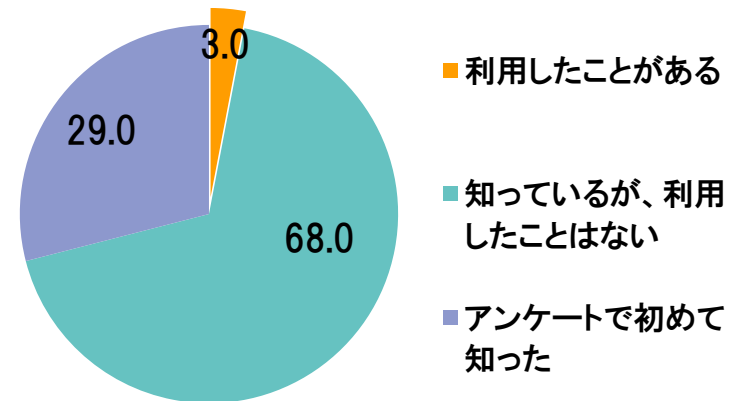
あなたは「民泊」を利用したことがありますか？

麒麟食生活文化研究所は、「民泊」について調査を実施(2017年10月3日～10日、全国、ウェブ調査)、男女20～69歳 計18,904名の方の回答をまとめました。

民泊を実際に「利用したことがある」人は3%でした。「知っているが、利用したことはない」人は、68%いらっしゃいます。利用したことがない人は、セキュリティや、ホスト(部屋の貸主)との関係などに不安を感じられているようです。

民泊を利用したいと思う時は、「安く利用したい時」が46%で最も高い結果となりましたが、「ホテル・旅館では味わえない体験がしたい時」が30%で続き、民泊ならではの体験を期待している人も多いことがわかりました。また、民泊のために、会ったことのない人と個人間取引を行う際の気持ちは、民泊を利用したことがある人と、ない人で大きな違いがありました。利用したことがある人は、「コミュニケーションするのが楽しい」と思っているのに対して、利用したことがない人は、「あまり関わりを持ちたくない」と感じている人が多いようです。民泊を利用した際のうれしかったエピソードもたくさんいただきました。民泊をしてみたいと思いがら、まだ実現していない方は、ぜひ一度トライしてみたいはいかがでしょうか？

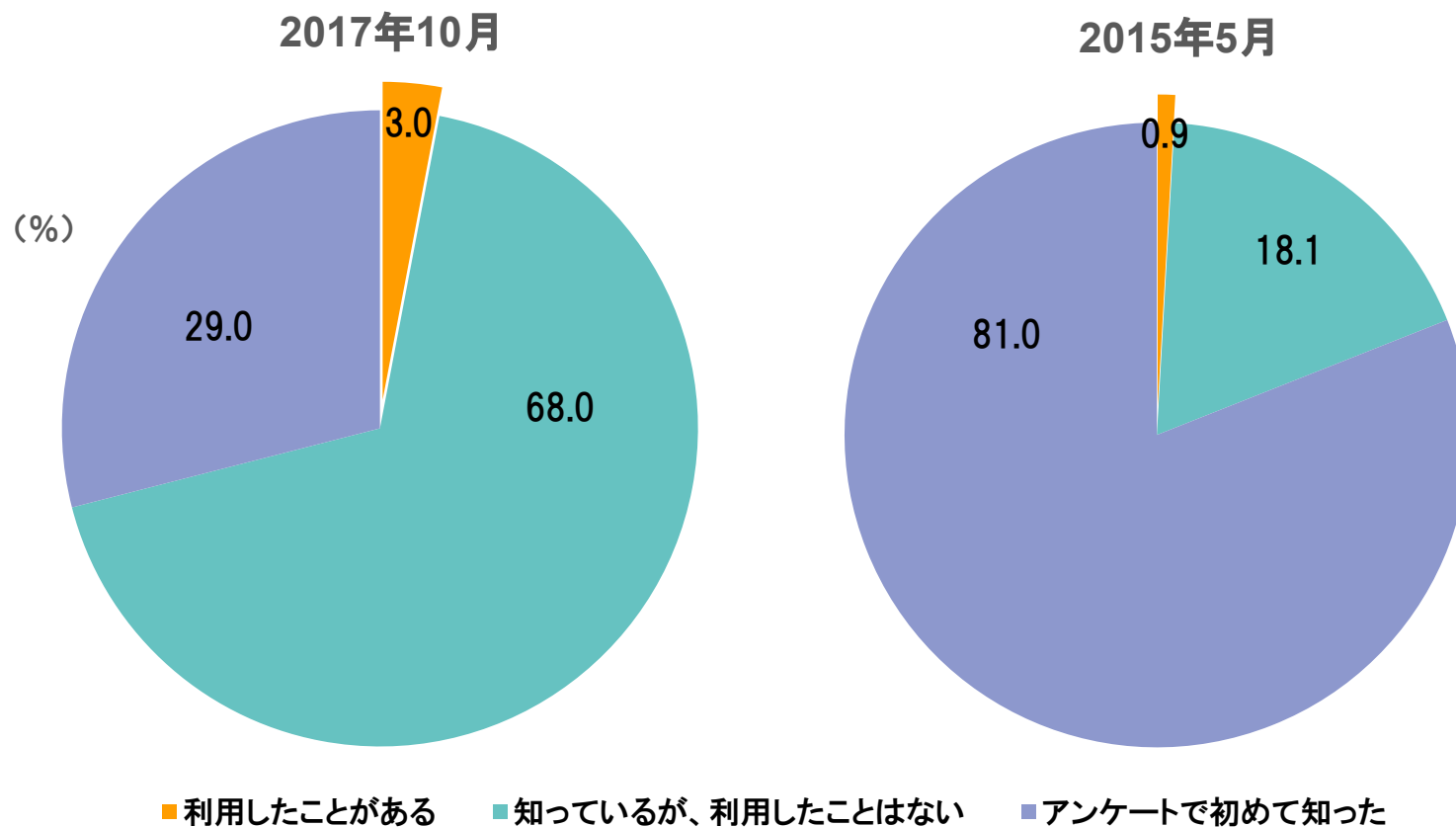
Q.「民泊」について、あてはまるのは？



Q.民泊を知っていますか？利用したことはありますか？

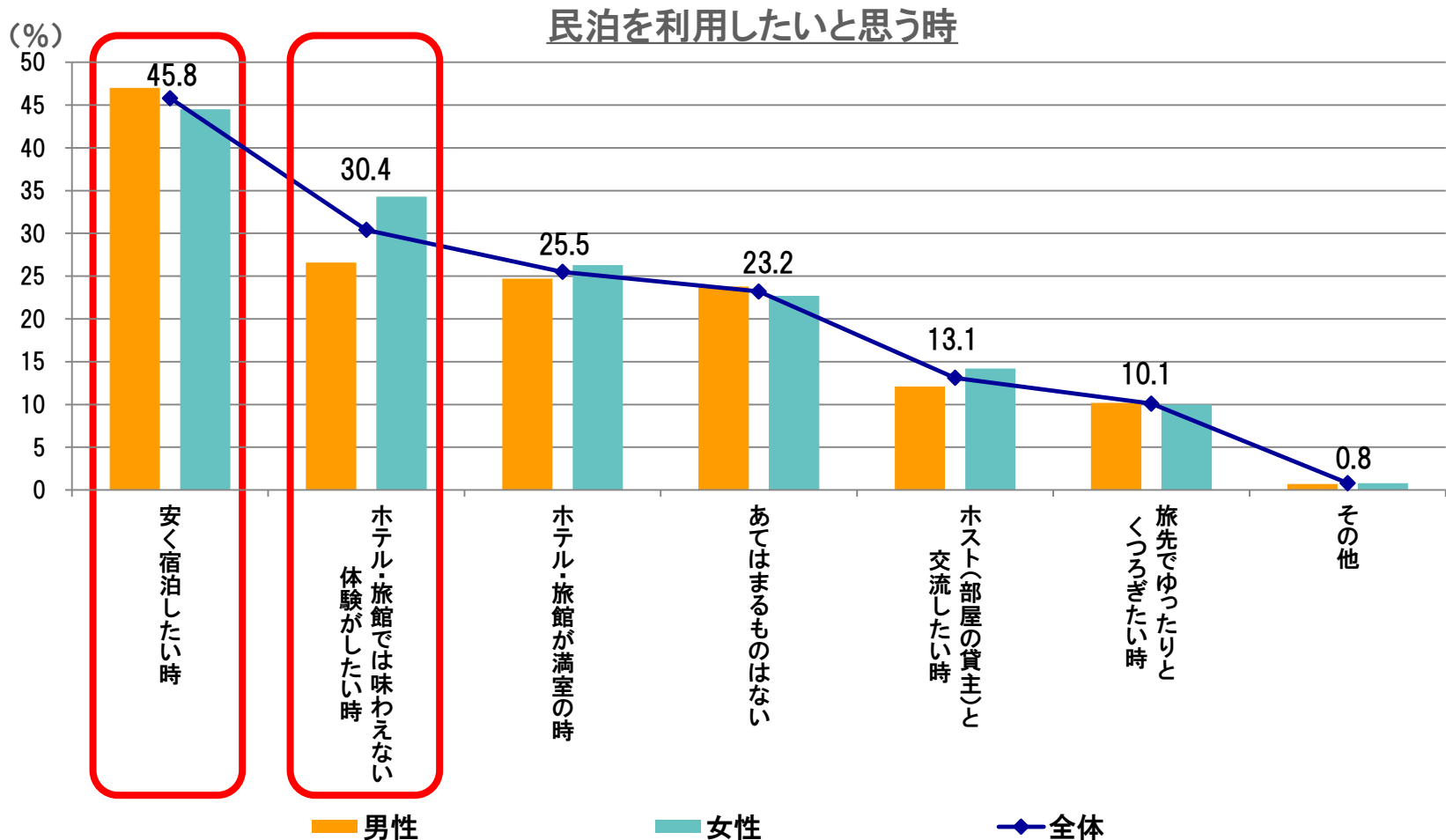
民泊を利用したことがある人は3%にとどまるが、2年前の調査時と比べると3倍以上に増えている。知っているが利用したことのない人は全体の7割近くまで大幅に増えた。2年前には8割以上の人エアビーアンドビーのような民泊のマッチングサービスを知らなかったが、今回の調査で初めて知った人は3割弱。

民泊の認知・利用経験



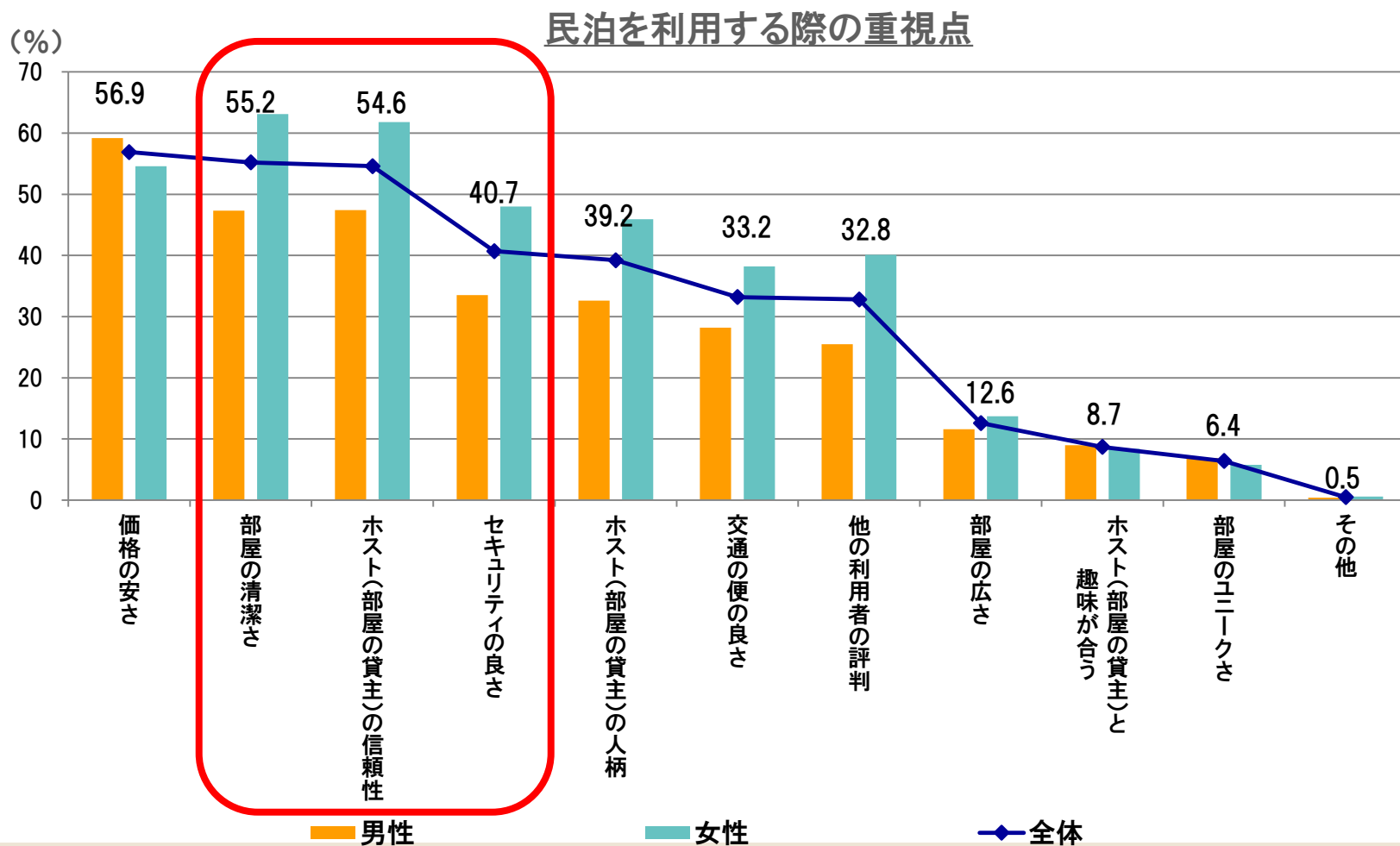
Q.民泊を利用したいと思う時は？

民泊を利用したいと思う時は男女ともに「安く宿泊したい時」がトップ。「ホテル・旅館では味わえない体験がしたい時」が全体で30%と続き、民泊ならではの体験を期待している人も多いことがわかる。この期待は女性が特に高くなっている。



Q.民泊を利用する際に重視する点は？

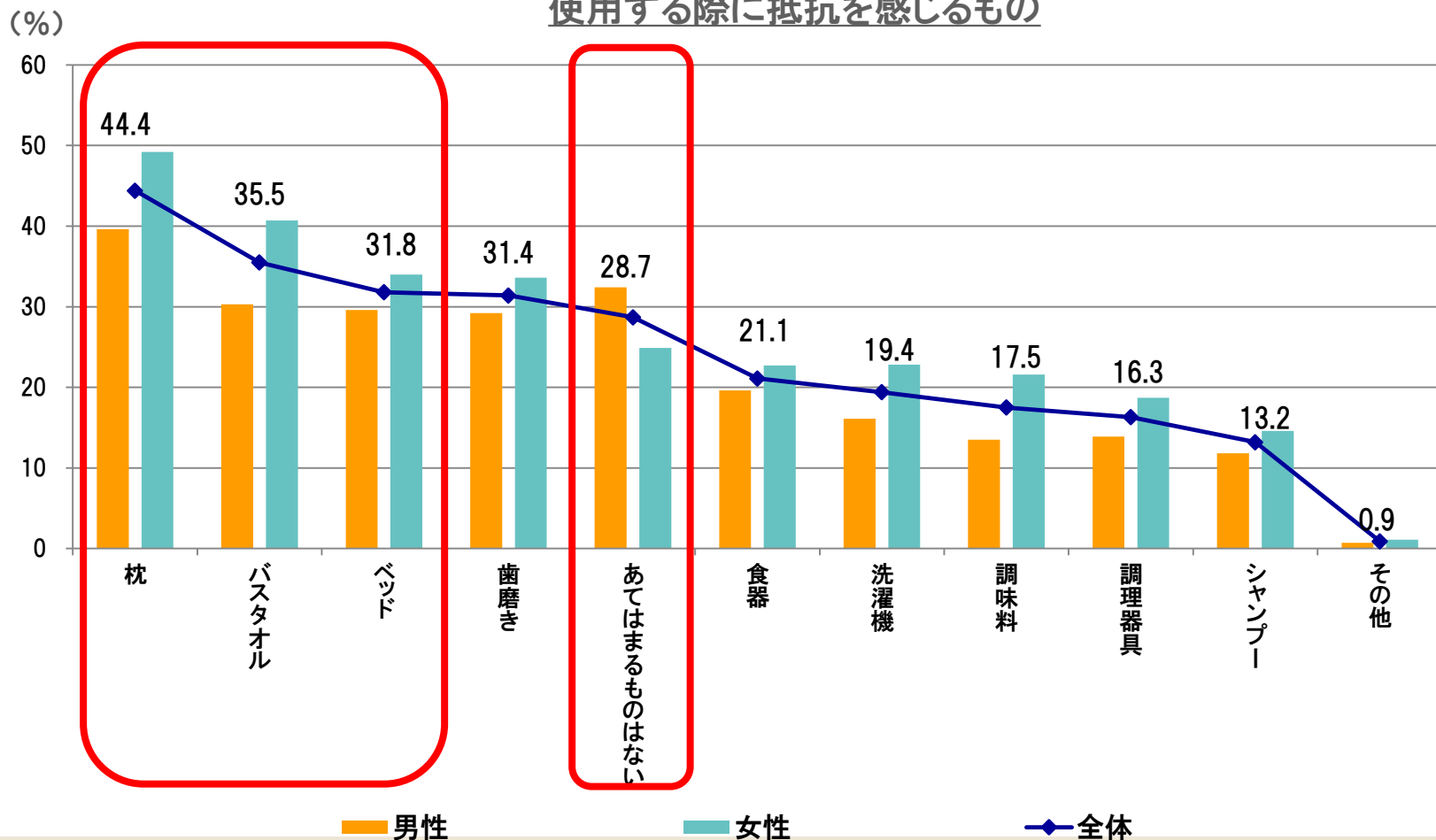
民泊を利用する際に重視するのは、全体では「価格の安さ」がトップだが、女性はそれ以上に「部屋の清潔さ」や「ホスト(部屋の貸主)の信頼性」を重視している。女性は「セキュリティの良さ」も5割近くの人が重視しており、「価格の安さ」以外は全体を通じて男性より女性のポイントが高くなっている。



Q.部屋に備えられているものを使用する際に、抵抗を感じるのは？

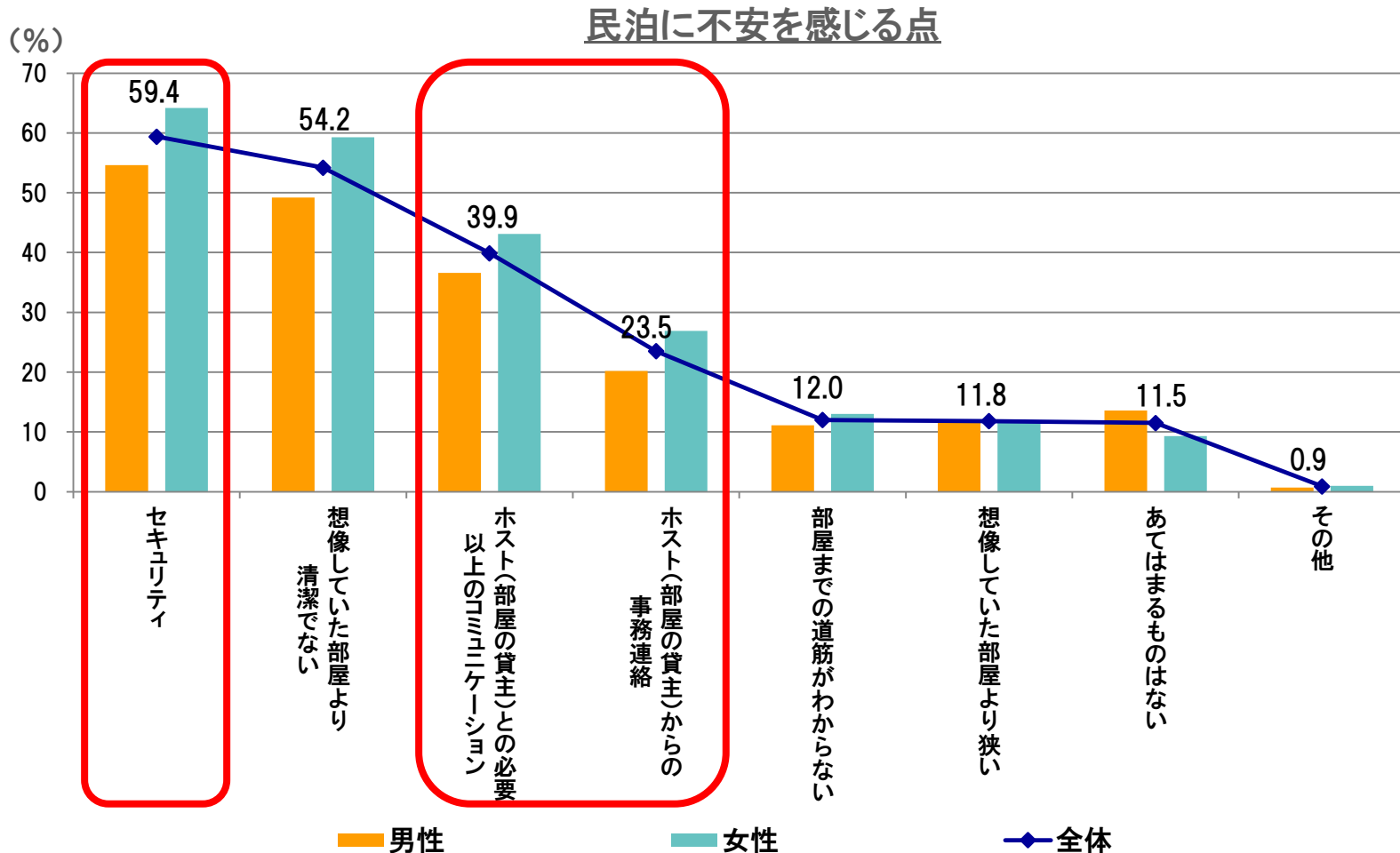
部屋に備えられているものを使用する際に、抵抗を感じるのは「枕」(44%)、「バスタオル」(36%)、「ベッド」(32%)の順となっており、体に直接触れるものに対して抵抗感が強い。一方で、「あてはまるものはない」という人も全体の3割近くおり、個人差が大きいことがわかる。

使用する際に抵抗を感じるもの



Q.民泊について不安を感じることは？

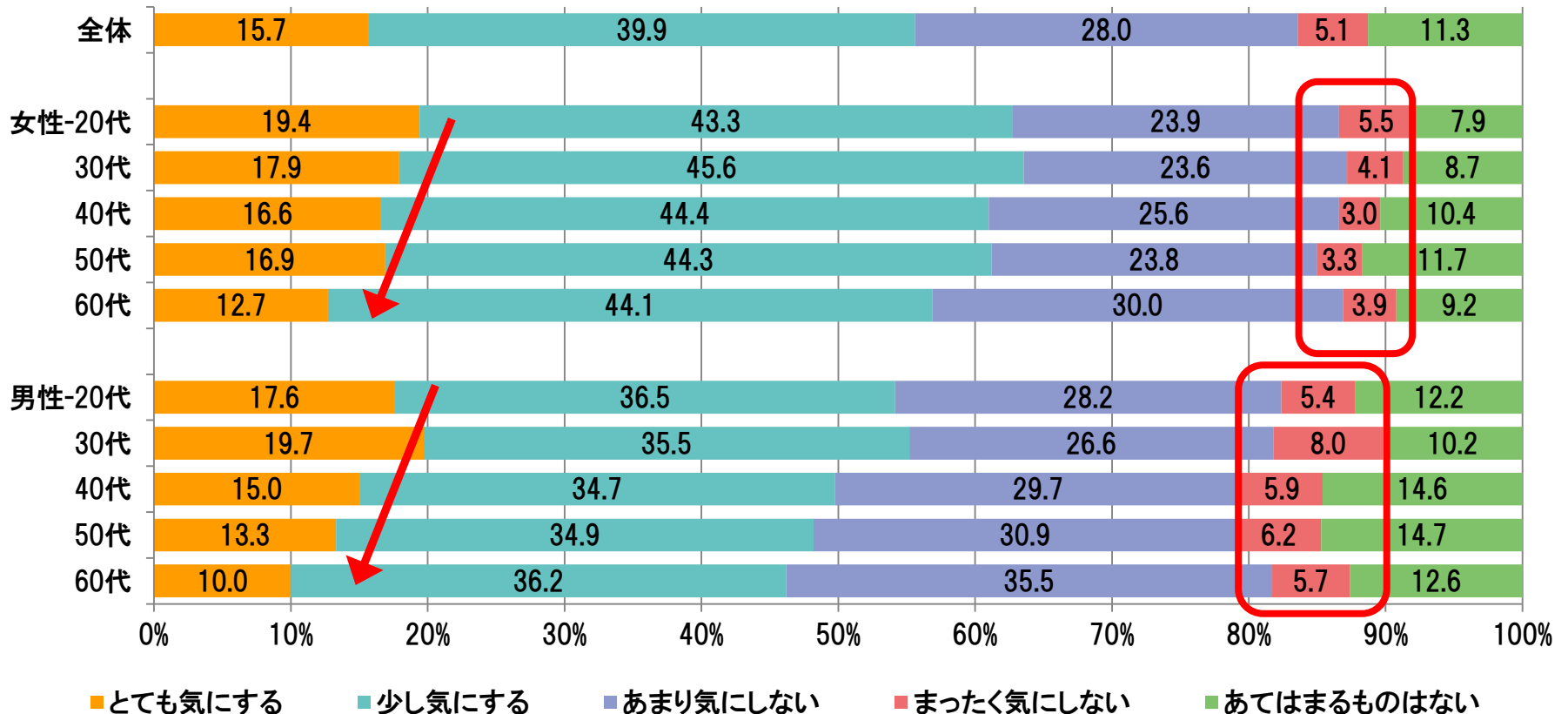
男女ともに「セキュリティ」がトップ。6割の人が不安を感じている。ホスト(部屋の貸主)に対しての不安を感じている人も多いが、「ホストからの事務連絡」よりも「ホストとの必要以上のコミュニケーション」が高く、ホストとはほどほどの距離感を保ちたいと考えている人も多いことが窺がえる。



Q.ホスト(部屋の貸主)からの評価は気になりますか？

男女ともに20代、30代で「とても気に入る」の割合が高い。年代が上がるにしたがって、気に入る人の割合は低くなる。全体的に、男性よりも女性のほうが自分の評価を気に入る傾向にあり、「まったく気にしない」は性別、年代を問わず5%前後にとどまる。

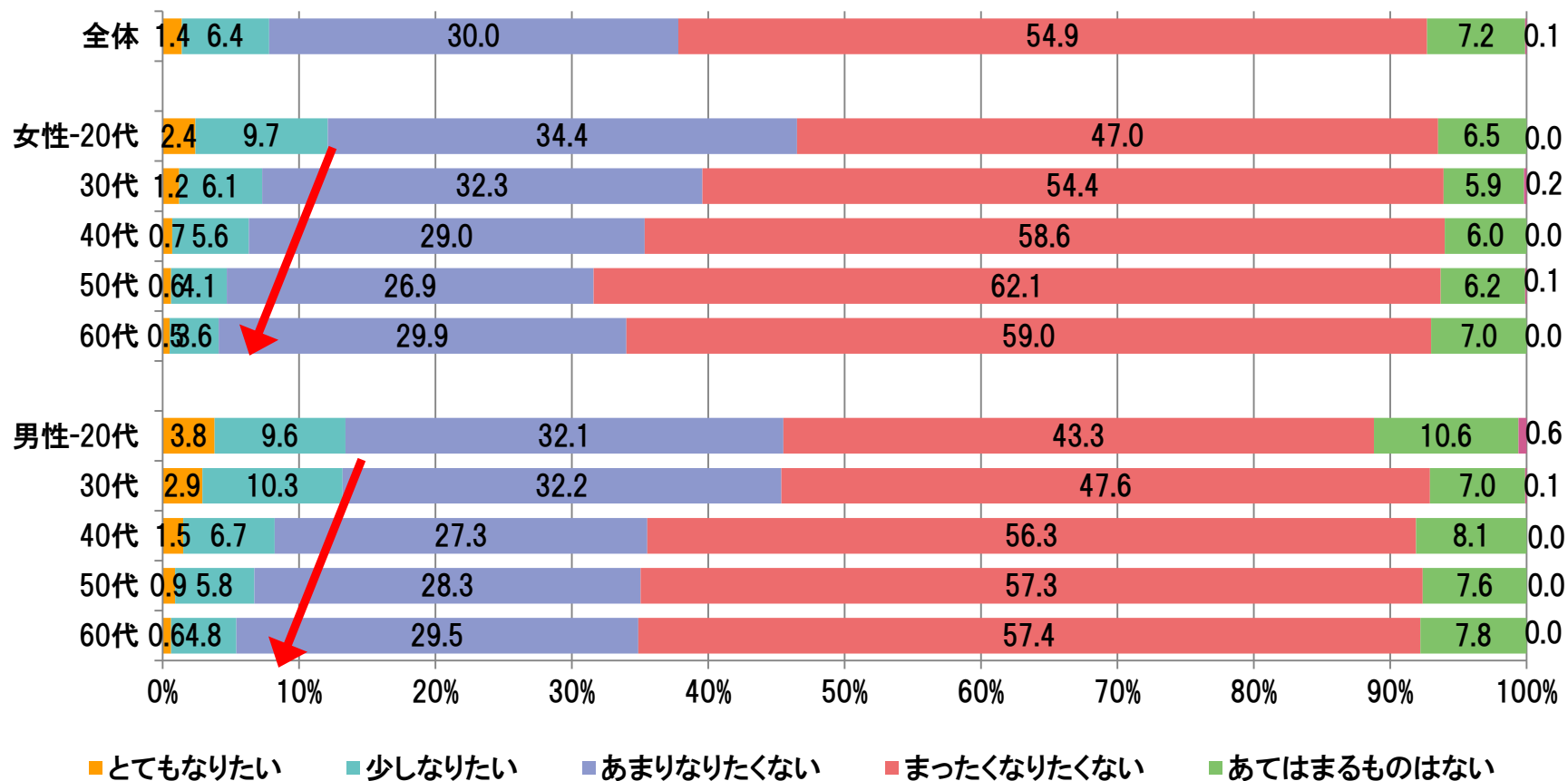
ホストからの自分の評価について



Q.ホスト(部屋の貸主)になりたいと思いますか？

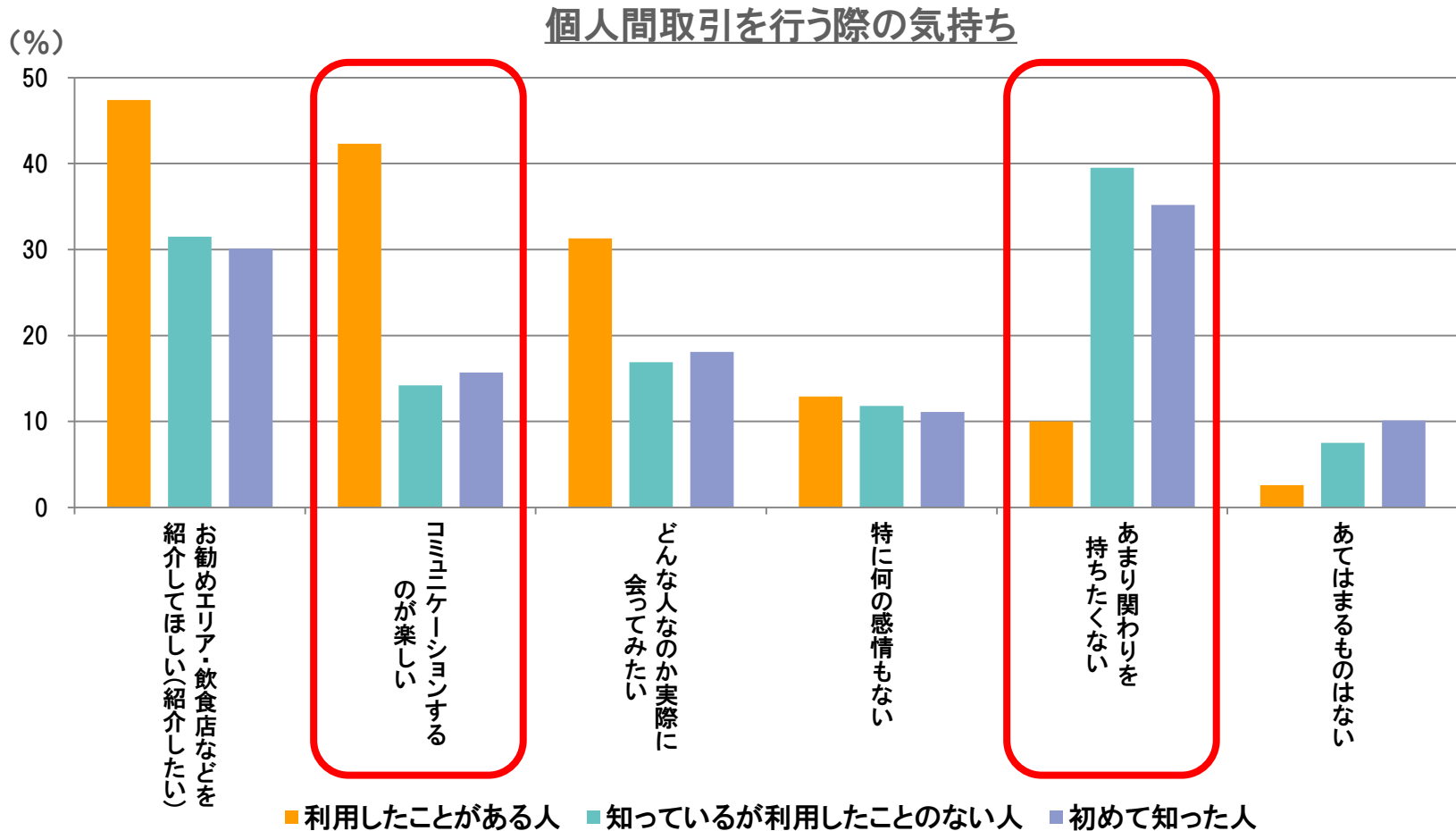
自分がホストになることについて、「とてもなりたい」、「少しなりたい」は男女ともに低い。20代から60代まで年代が上がるごとにだんだん低くなっている。ホストになりたくないと考えている人が圧倒的に多く、男女ともに5割以上の人々が「まったくなりたくない」と回答。

自分がホストになることについて



Q.会ったことがない人と個人間取引を行う際の気持ちは？

会ったことがない人と個人間取引を行う際の気持ちは、民泊を利用したことがある人と、ない人で大きな違いがある。利用したことがある人は、「コミュニケーションするのが楽しい」と思っているのに対して、利用したことがない人は、「あまり関わりを持ちたくない」と感じている人が多い。



Q.民泊を利用した際の個人間取引の中でうれしかったことは？（自由回答）

民泊を通じて、うれしかったエピソードがたくさん寄せられた。地元ならではの情報を教えてもらったり、名物料理をふるまってもらったり。家族のようなつきあいで、毎年のように連絡を取り合って泊りに行っているという人も。また、海外での体験が良い思い出になっているという人も多かった。

個人間取引の中でうれしかったこと（自由回答）

その地方ならではの美味しい名物料理を出していただいて感激。(40代男性)

季節によって美味しい地元の食材を紹介してくれるのが、ありがたい。(40代男性)

ご主人が鯛を釣ってきてくれた。今まで食べた鯛の中で1番大きく、1番新鮮で、1番美味しかった。(40代男性)

庭でお酒を交わしながらBBQしました。今でも毎年のように連絡を取り合い、泊りに行っています。(30代男性)

ハワイで民泊した時、観光客が行かない絶景スポットを教えてくれた。(30代男性)

ローマに滞在した時、到着したらすぐに料理できるように、トマトソースやオリーブオイルをプレゼントしてくれた。(40代男性)

地元ならではの

ネットに載っていないような、オススメの居酒屋、銭湯を教えてもらった。(20代女性)

田舎飯！みたいな夕飯のおもてなしがとても温かく親しみを感じた。(20代女性)

サプライズ

オーナーさん個人の計らいで素敵なプレゼントをもらった。(20代女性)

家族や親戚のような親近感

老夫婦の別荘で、おじいちゃん家に遊びに来たみたいな気分やった。(30代女性)

沖縄でオーナーのオジーが三線を弾いてくれたのは今でも忘れられない。(40代女性)

海外での体験

とあるワインの名産地で、気さくなホスト夫婦のお勧めワインを庭で一緒に飲んだのは本当に楽しかった。(40代女性)